

一 般 質 問

要 旨

(仮)十和田市健診センター  
平成二十一年度から稼働予定!

第三回定例会での市政に対する一般質問は、九月十一日、十二日の二日間行われ、十一人の議員が登壇した。行政評価、新幹線開業による地域活性化対策、奥入瀬溪流の環境保全、新中央病院の運営、介護保険、水道料金の改定などについて活発な議論が展開された。要旨は次のとおり。

一 般 質 問 者 紹 介

野 月 一 博	岩 城 康 一 郎	工 藤 正 廣	舛 甚 英 文	鳥 越 正 美	畑 山 親 弘	竹 島 勝 昭	杉 山 道 夫	田 中 重 光	堰 野 端 展 雄	石 橋 義 雄
---------	-----------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	-----------	---------

(発言順)

注) 発言順と掲載した順序とは一致しません。

総務文教

行政評価について

質問 行政評価に対する概要とその考えを伺いたい。  
答弁 当市の行政評価システムには、事務事業評価と公共事業評価があり、今年度試行するのは事務事業評価である。この事務事業評価の目的と目標は、一つは市民のニーズに対応した行政サービスの提供、二つ目は行政の透明性の向上及び説明責任の徹底、三つ目は厳しい状況にある財政運営の建て直しを目的に、効率の建て直しを目的に、効果的で効果的な事務事業の展開を図り、基金に依存しない財政運営を目標とするものである。



不在者投票について

質問 選挙の透明性を高める対策として、不在者投票の指定施設に対し、外部投票立会人の選定を要請する、また、施設側から要望があった場合、立会人を紹介するなどという考えはないか伺いたい。

答弁 青森県選挙管理委員会が指定する病院、または福祉施設内における不在者投票に関する投票管理者は、その病院長または施設長と定められており、投票立会人は、投票管理者が選任することとなっている。したがって、指定病院または福祉施設の職員が不在者投票の投票立会人となっているのが現状である。現在、市内には十五カ所の施設が不在者投票所として指定されており、指定病院または福祉施設職員以外の投票立会人導入の可能性については、今後これらの施設関係者と



今年の選挙投票風景から

の話し合いの場を設け、検討していきたい。

児童生徒の学力向上について

質問 アシスタントティーチャー派遣事業の実施状況とその効果について伺いたい。

答弁 本事業は、児童生徒の学力の定着と授業理解度の向上を図るために、希望校に対し主に教科指導を支援するため、教員志望の大学生や教員資格を有する者を派遣するもので、本年度から実施している。実施状況については、小学校はモデル事業として三校が実施しており、実施回数各校一回につき三時間程度で、年間五十回を予定している。中学校は、市内九校すべてが実施しており、実施回数は大規模校四校が年間百五十回、その他の五校は五十回ずつを予定している。各校では、教科を算数、数学、理科、英語に限定する、学年を限定するなど、それぞれの学校の状況に応じて活用している。

本事業は、今年度スタートしたばかりであることから、具体的な効果については把握していないが、実施している学校からは学校の課題に応じて計画できる一人で活用しやすい、子供一人一人に行き届いた指導がで

きるなどの声が上がっており、実施校において個に応じた指導が充実し、本事業の目的である学力定着と授業理解度の向上が期待できると考えている。



テレポート十和田について

質問 テレポート十和田について、最近、岩手競馬組合の運営問題や再建問題が報道されているが、そこで、開設当時から要望であったJRAの開設の可能性について伺いたい。

答弁 JRAの場外馬券売り場を設置することに関しては、岩手競馬組合に対しては、何度もお願ひし、JRAへの働きかけをしてもらっているところである。しかし、JRAの設置には、券売機の設置や駐車場の増設等、投資コストが多額にかかることや売上高がある程度見込めること等の条件があるために、なかなか進まない状況にある。今後とも岩手競馬組合と協議しながら、機会を捉え、JRAへの要望を働きかけていきたいと考えている。